

宝石みたいな流水届く



北海道から届いた流水に大喜びの児童たち—多度津町
豊原小学校

北海道から豊原小に

多度津町の豊原小学校に北海道稚内から三年ぶり二回目のオホ
シツク海の流水が届き、神秘的な北国の白い使者に歓声が渦巻い
ていました。

児童ら冷たさに驚き

真っ白くキラキラ光るもので、同小卒業で保護
流水は三つの塊で重さ十者でもある建築士の平本
五郎。香川県建築士会と規一さん(西)と多度津工
北海道建築士会のインタ業高校建築科教諭の中川
ーネット交流で実現した健児さん(五)が中心とな
た。

流水に添えられていた
メッセージには気温マイ
ナス9度、風速11で体
感気温マイナス20度の二
月十九日に浜頓別町の

学ぶ

沖合で採取。厳冬の海
上作業で困難だったが、
勉強に活用してくれば
報われますと、ありまし
た。

児童たちは代わる代わ
る流水に触れ「冷たい」
「白い中に光るものがあ
る宝石みたい」と感激。
水環境やごみ減量化など
環境問題について学んで

おり、流水のプレゼント
を機にさらに地球温暖化
を防ぐための暮らし方な
どの理解を深めていくそ
うです。
(森 純子)